

東芝換気扇（ダクト用）取付説明書

販売店・工事店さま用






中間取付形






形名	低騒音タイプ	消音タイプ
	DVC-18H DVC-20H DVC-23H DVC-25H	DVC-18HN DVC-20HN DVC-23HN DVC-25HN

- この換気扇（ダクト用）の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。
- 取付工事は、必ず専門の工事店にご依頼ください。
- この製品には専用スイッチ他、別売のシステム部材が必要です。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管していただくように依頼してください。

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

図記号の例	
表 示	表 示 の 意 味
 <b>警告</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または(*1)重傷を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が(*2)傷害を負うことが想定されるか、または(*3)物的損害の発生が想定されること”を示します。
*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。	
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。	
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。	
図 記 号	図 記 号 の 意 味
 禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で指示します。
 強制	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で指示します。

 <b>警告</b>			
修理技術者以外の人は、分解・修理（※）をしない 火災・感電・けがの恐れがあります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。		 分解・修理禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける漏電した場合、火災の原因になります。
電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。		 交流100V使用	改造はしない 火災・感電・けがの恐れがあります。
煙突排気の燃焼器具がある建物に取り付けるときは、十分大きな空気取入口を別に付ける排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。		 給気を確実に	外気取入口は燃焼ガスや有害ガスなどを吸い込まない、また積雪で外気取入口をふさがない所にする新鮮な空気の換気ができず、ガス中毒や酸欠の原因になります。
内釜式風呂を設置した建物には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります			 取付禁止

## ⚠ 注意

電気工事は必ず電気工事店に依頼する 電気設備技術基準や内線規程に従って 安全・確実に行う 誤った電気工事は火災や感電の原因になります。	❗ 取付注意	強度のある場所に確実に取り付ける 落下により、けがをする恐れがあります。	❗ 確実に取り付ける
取り付けのときは手袋を使う けがをする恐れがあります。	❗ 手袋を使う	給排気などグリルは確実に取り付ける 落下により、けがをする恐れがあります。	❗ 確実に取り付ける
浴室など湿気の多いところには取り付けない 火災・感電の原因になります。	🚫 取付禁止	炎が接近したり、当たる恐れのある場所 には取り付けない 火災の恐れがあります。	🚫 取付禁止

## お願い

- 高温（40℃以上）になるところに取り付けしないでください。  
（高温では、温度ヒューズが溶断して使えなくなります）
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1 / 100 以上の傾斜をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ（システム部材）または、雨水などの浸入を防ぐためのパイプフード（システム部材）などを取り付けてください。
- 効果的な換気を行うため給気口または給気専用送風機を取り付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）

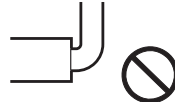
●極端な曲げ



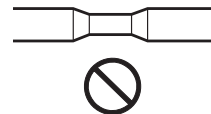
●多数の曲げ



●吐出口のすぐそばでの曲げ

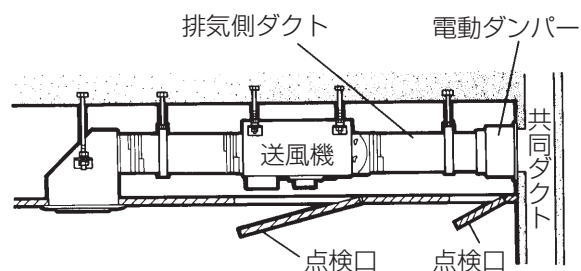


●しぼり



## 規 制

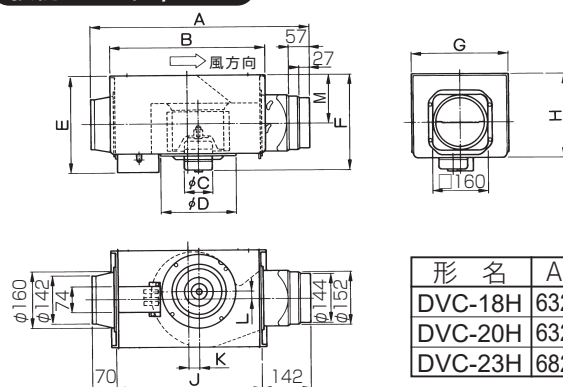
- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用しなくてはならないよう義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取り付けるか、システム部材の電動ダンパーを取り付けて点検口を必ず設けてください。
- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。



# 外形寸法

## ■形 名：DVC-18H、DVC-20H、DVC-23H

接続ダクト径φ 150

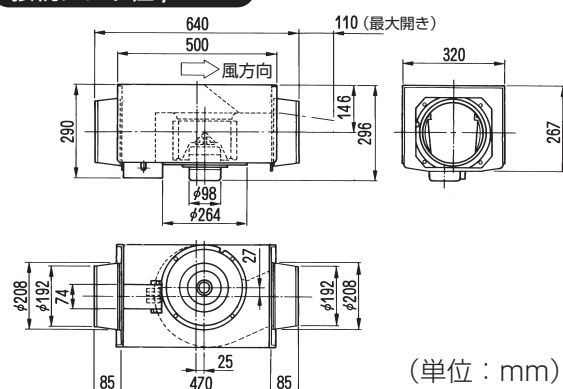


(単位：mm)

形 名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
DVC-18H	632	450	82	220	275	271	280	237	420	31	21	137
DVC-20H	632	450	98	220	275	277	280	237	420	31	21	137
DVC-23H	682	500	98	264	290	296	320	257	470	25	27	156

## ■形 名：DVC-25H

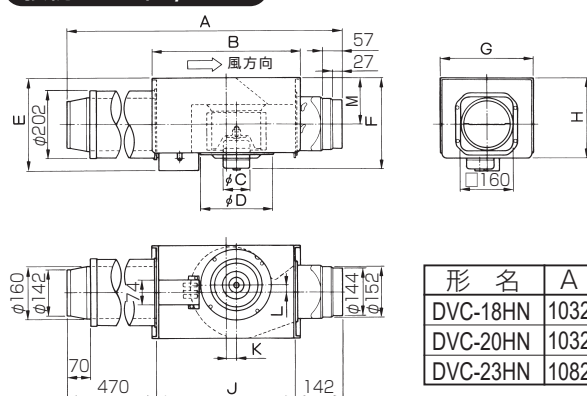
接続ダクト径φ 200



(単位：mm)

## ■形 名：DVC-18HN、DVC-20HN、DVC-23HN

接続ダクト径φ 150

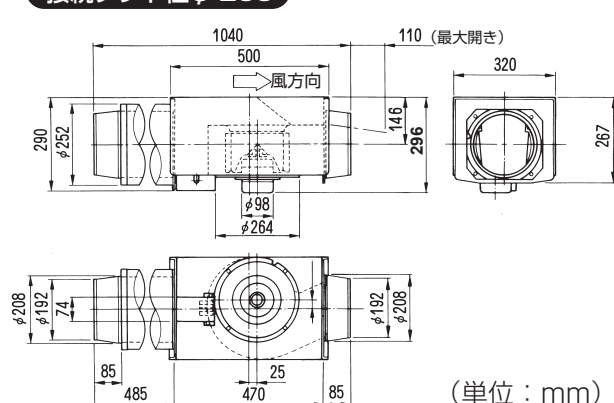


(単位：mm)

形 名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
DVC-18HN	1032	450	82	220	275	271	280	237	420	31	21	137
DVC-20HN	1032	450	98	220	275	277	280	237	420	31	21	137
DVC-23HN	1082	500	98	264	290	296	320	257	470	25	27	156

## ■形 名：DVC-25HN

接続ダクト径φ 200



(単位：mm)

## 付属部品

天吊金具……………4 個



天吊金具取付  
ドリリングネジ…8 本



排気側ダクト  
接続口……………1 個



※図は DVC-18H,20H,23H を示す

ダクト接続口  
取付ネジ…10 本



## 付属部品

天吊金具……………4 個



天吊金具取付  
ドリリングネジ…8 本



排気側ダクト  
接続口……………1 個



※図は DVC-18HN,20HN,23HN を示す

吸気側消音  
ダクト接続口……………1 個

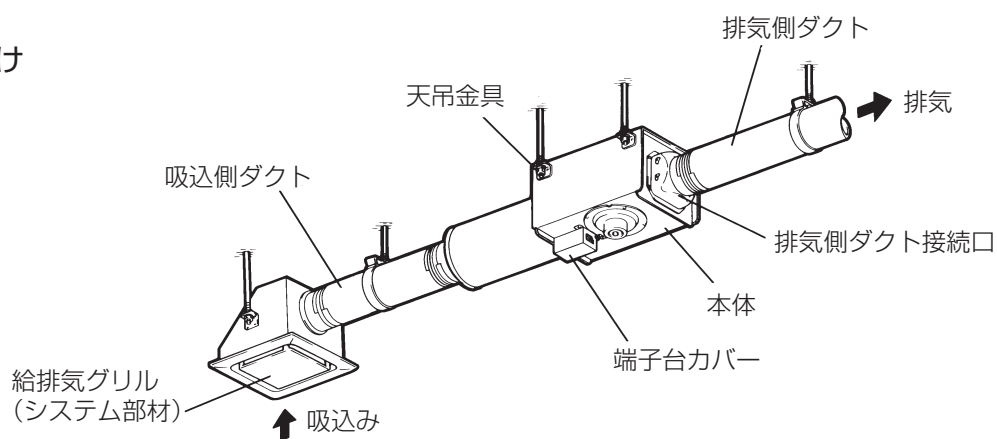


ダクト接続口  
取付ネジ……………10 本



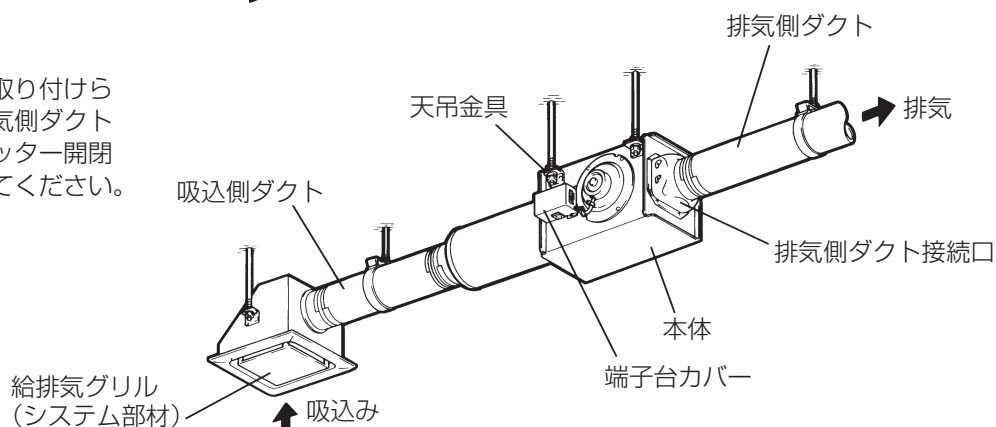
# 取付例

## ■標準取付け

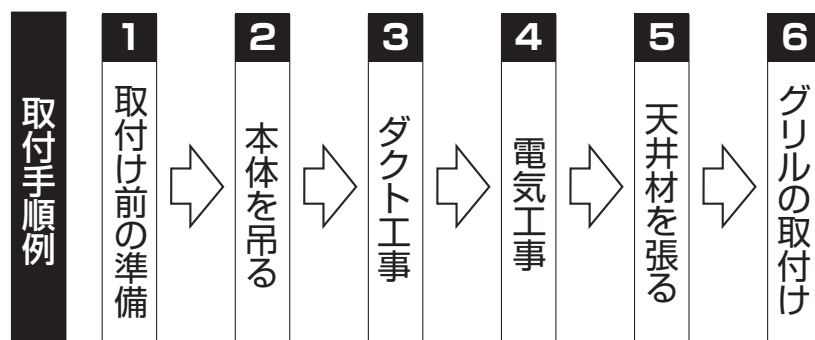


## ■横取付け

※天地を逆にも取り付けられますが、排気側ダクト接続口のシャッター開閉方向に注意してください。

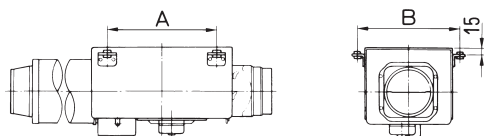


# 取付方法

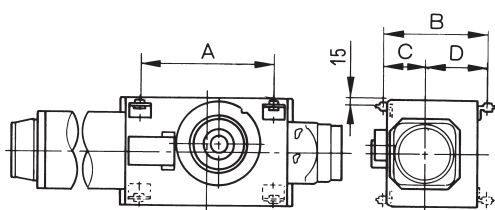


# 1 取付け前の準備

## 標準取付けの場合



## 横取付けの場合



1. 取付位置・壁排気穴位置・吸込グリル取付位置を決めます。

2. 吊りボルトを埋込みます。

●図を参照してあらかじめ市販の吊りボルト（M8）を埋込みます。

（単位：mm）

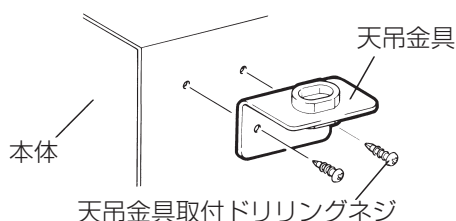
形 名	A	B
DVC-18・20H, 18・20HN	350	330
DVC-23H, 23HN	400	370
DVC-25H, 25HN	400	370

（単位：mm）

形 名	A	B	C	D
DVC-18・20H, 18・20HN	350	272	110	162
DVC-23H, 23HN	400	292	110	182
DVC-25H, 25HN	400	292	120	172

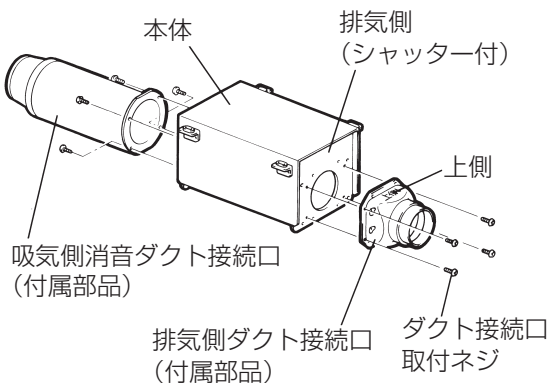
●左図の破線部に天吊金具を取り付けると天地逆取付けができます。

※イラストは標準取付けを示す。



天吊金具（4 か所）を取り付けます。

●本体のへこみ部に天吊金具の穴 2 か所を合わせ付属の天吊金具取付ドリリングネジ（2 本）で取り付けます。



吸気側消音ダクト接続口および排気側ダクト接続口を取り付けます。

（DVC-18H,20H,23H,25H は排気側ダクト接続口のみの取り付けとなります）

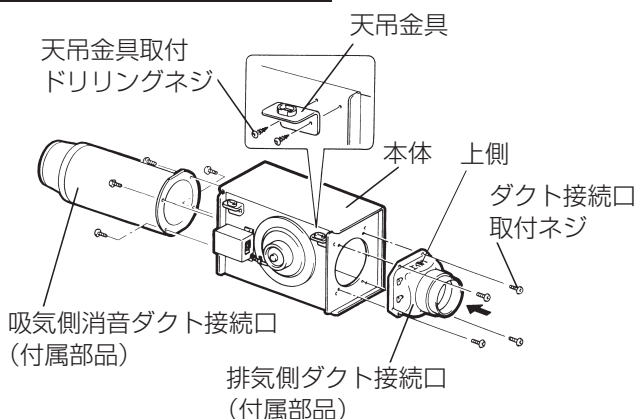
●排気側ダクト接続口のシャッターがスムーズに動くかを確認します。

●排気側ダクト接続口の「上側」の印が上になるよう付属のダクト接続口取付ネジ 4 本で本体の「排気側（シャッター付）」の文字がある側に取り付けます。（残りのネジは不要となります）

## お願い

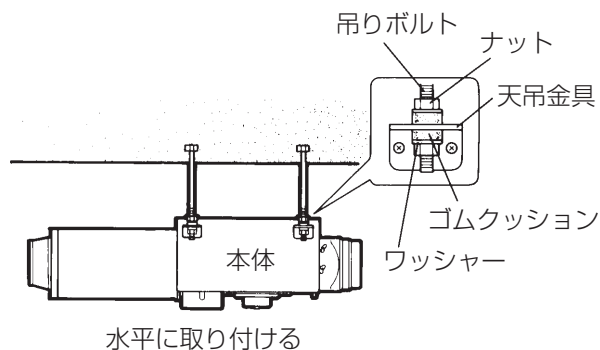
●排気側ダクト接続口は上・下を間違えないように取り付けてください。（シャッターが閉まらず外風侵入の原因となります）

## 横取付けの場合



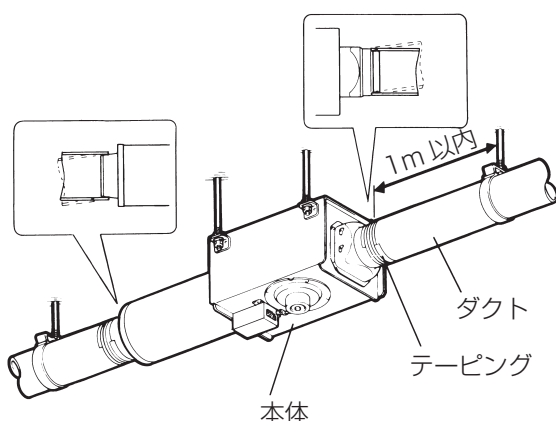
横取付けの場合も本体取付け状態で排気側ダクト接続口の「上側」の文字が上になるようにして付属のダクト接続口取付ネジ（4 本）で取り付けます。

## 2 本体を吊る



本体が水平になるよう天吊金具を吊りボルトに取り付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定します。

## 3 ダクト工事



1. 本体から壁排気穴・吸込グリル位置までダクト配管をします。
2. ダクトを吸気側および排気側ダクト接続口にしっかり差し込んで風漏れのないようテーピング（市販品）してください。

●塩化ビニール管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。

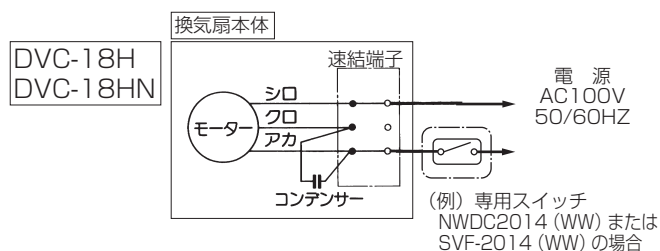
### お願い

- ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。
- 3. ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊るしてください。

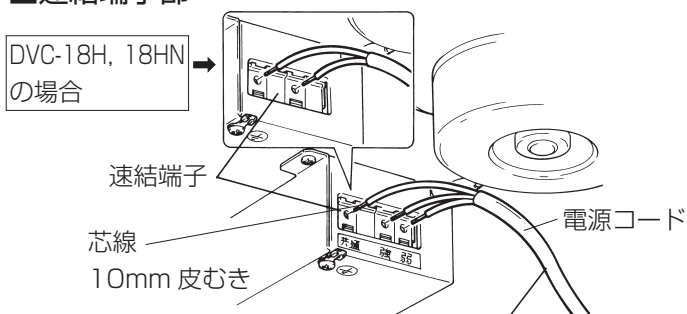
## 4 電気工事

専門の電気工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

### ■結線図



### ■速結端子部



1. 電源コード（適用電線 単線φ 1.6, φ 2, 例：VVF）を本体の端子台（速結端子）に接続します。

●芯線を 10mm 皮むきし、コード接続口に奥まで差し込みます。

2. 接続後、電源コードを引っ張りぬけないことを確認します。

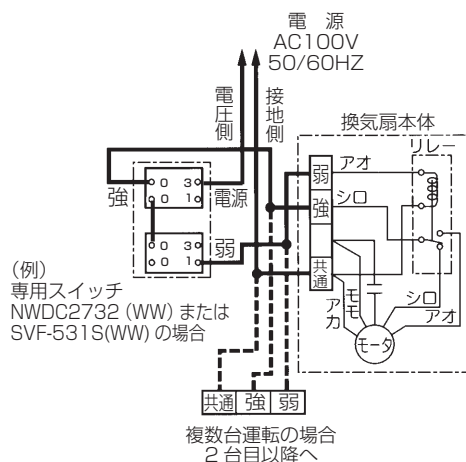
### お願い

- DVC-20, 23, 25 タイプは結線を間違えますとファンが回らなかったり、風量切換スイッチが弱でも強い運転をしたり、またリレーより異常音が発生することがありますので間違えのないよう結線してください。
- 電源コードは、接続部に力が加わらないよう本体付近で約 150mm たるませてください。
- 電源コードを速結端子からはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン（赤色）を押しながら電源コードをひっぱってはずしてください。
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子（市販品）をより線に取り付けてから速結端子に確実に差し込んでください。

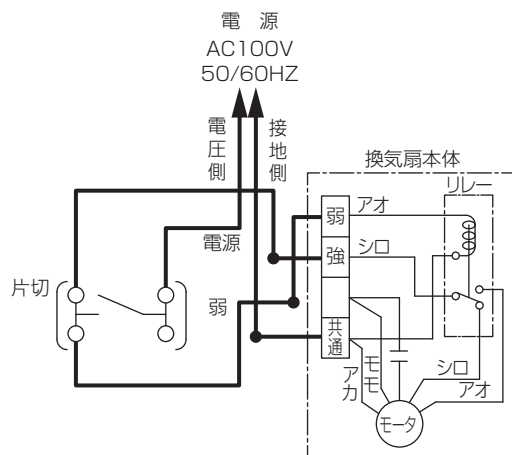


## ■結線図

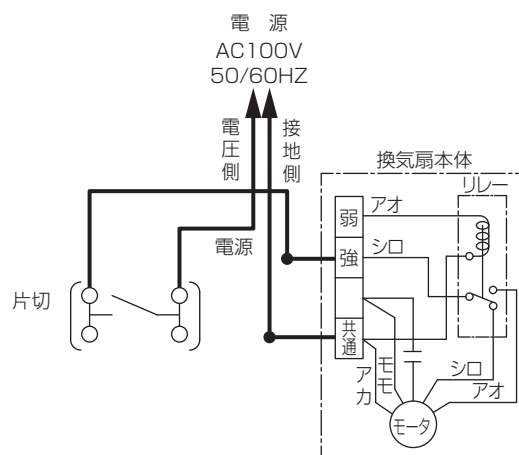
DVC-20H  
DVC-23H  
DVC-25H  
DVC-20HN  
DVC-23HN  
DVC-25HN



### ●「弱」のみで「入/切」

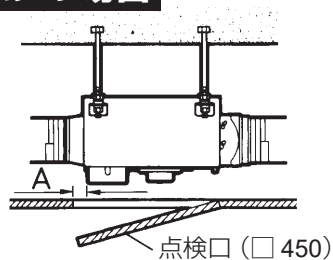


### ●「強」のみで「入/切」

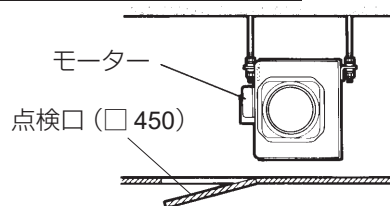


## 5 天井材を張る

### 標準取付けの場合



### 横取付けの場合



### 天井材を張ります。

- 左図のように側面（モーター側）のメンテナンスができる位置に保守点検口が必要です。  
(メンテナンスができなくなります)

(単位: mm)

形 名	A
DVC-18・20H, 18・20HN	0 ~ 70
DVC-23H, 23HN DVC-25H, 25HN	0 ~ 30

左図のようにモーターと端子台カバーがメンテナンスができる位置に保守点検口を設けてください。

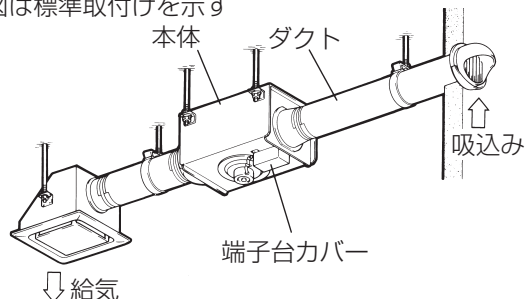
## 6 グリルの取付け

システム部材のグリルを使用し、それに同梱の取付説明書を参照して取り付けてください。

### 給気用として取付ける場合

#### DVC-18H, 20H, 23H, 25H の場合

※図は標準取付けを示す



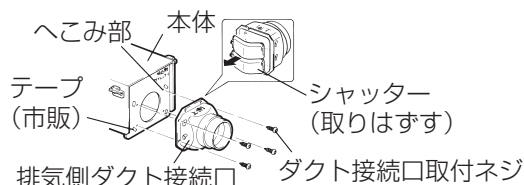
1. 左図のように端子台カバーを吸込み側にして本体を吊ります。
2. ダクト配管後、本体およびダクトの外周に断熱工事を施します。

#### お願い

- 給気用として用いると吐出側騒音値は、排気時の吸込側騒音値に比べ約 7～8dB 大きくなります。
- 排気側ダクト接続口のシャッターは外風侵入防止の機能がなくなります。

#### DVC-18HN, 20HN, 23HN (φ 150) の場合

※図は標準取付けを示す



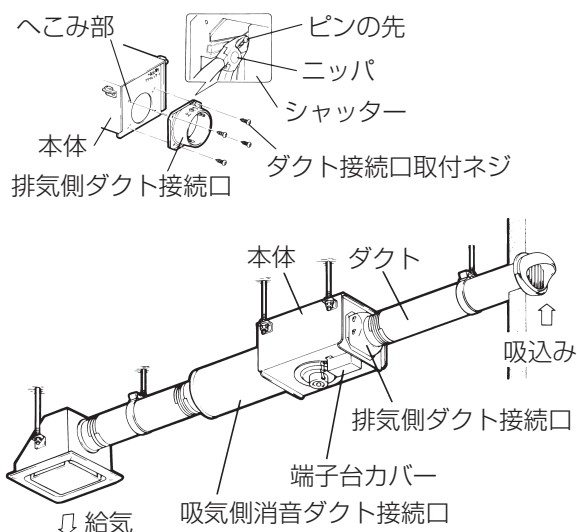
1. ダクト接続口のシャッターを取りはずします。

機種によりはずしかたが異なります。

- 図のようにシャッターのセンター部分を折り曲げて取りはずします。  
(DVC-18HN, 20HN, 23HN)

- 図のようにシャッター両側のピンの先をニッパなどで切り取ってはずします。(DVC-25HN)

#### DVC-25HN (φ 200) の場合



2. 排気側ダクト接続口を「吸気側(サイレンサー)」のラベルがある側に取り付けます。
3. 吸気側消音ダクト接続口は「排気側(シャッター)」のラベルがある側に取り付けます。
4. 使用しない取付用穴を全て市販のアルミテープでふさぎます。(風漏れ防止)
5. 本体の端子台カバーが吸込側にくるようにして本体を吊ります。
6. 本体および接続ダクトへの断熱工事を行ってください。

#### お願い

- 給気用として用いると吐出側騒音値は、排気時の吸込側騒音値に比べ約 7～8dB 大きくなります。

## 試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取り付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。

東芝キャリア株式会社